

## ☆新工場建設の目的

当社は2000年に樹脂製の反射防止パネル（製品名：ハーツラスAR）を福井県坂井市にある坂井工場（担当部署：精密事業部）にて量産開始しました。その後の需要拡大に対応すべく、第2工場（2006年増設）、第3工場（2008年増設）と段階的に設備増強を行い事業の成長に注力して参りました。

その様な中、昨今ではIT化や情報化により、表示機器への視認性向上がより一層求められ、車載表示器（メーター、カーナビ等）では、その安全性確保のために反射防止薄膜技術を付加したカバーパネルの需要が増えております。

弊社の「ハーツラスAR」製品は、その優れた耐久性、耐薬品性等の基本性能や、ニーズに対応した新規開発製品の提供により、現在まで多くの車種にてご採用を頂けております。しかしながら、現状の生産能力（3.6万m<sup>2</sup>/月）ではお客様の需要に対して、今後十分に應えることが困難な状況が予測されます。

そこで需要拡大及び市場ニーズに対応するために新工場を建設し、生産キャパを増強することを決定致しました。新工場建設により、生産キャパは現状の1.83倍に拡大致します（新工場での生産キャパ：3万m<sup>2</sup>/月）。更に、車載業界でのトレンドとなっている表示機器のワイド化・大型化を見据え、既存製品の2倍巾製品の製造が可能な設備を導入致します（650mm巾→1,400mm巾）。

フクビ化学工業は、坂井市に位置する同工場を光学薄膜コーティング技術による高付加価値製品製造のグローバル戦略拠点と位置付け、常に市場ニーズを捉えた新規開発製品を提供し続けることで、車載、医療、エレクトロニクス等の分野でお客様の声を形にし、全世界に「ハーツラスAR」を提供して参ります。



（増設する新工場のイメージ図）

## ☆ 「ハーツラス AR」のご説明

「ハーツラス AR (アンチリフレクション)」は、特殊コーティング技術を駆使した高透明・低反射樹脂パネルで、視認性が要求されるディスプレイの表面保護パネルとして誕生。

反射防止膜はナノ（1ナノメートル=百万分の1ミリ）単位の薄膜を多層コーティングすることで、光の透過率を99%以上に高め、表面反射を低減する機能を付与しています。

「ハーツラス AR」は、従来技術として一般的に知られる真空蒸着装置などで無機系の膜を積層していたものとは異なり、フクビが独自に開発したコーティング液と設備を用いた「ウェットコーティング法」による有機系の膜で構成されており、温度変化や耐久性に優れた反射防止膜として量産化しています。

水や油をはじき、汗や塩分などの耐薬品性が良好なことから、車載表示機器の保護パネル、モバイルや医療機器の液晶保護パネルなど、幅広い用途にご採用頂いています。

「ハーツラス」ブランドとしては、以下に記載の通り、多くの製品群を取りそろえております。

<商品群>	<効能>	<用途>
AR シート <sup>注)</sup>	反射防止	車載（クラスタ、CID）
AGAR シート <sup>注)</sup>	表面凹凸付き 反射防止	カメラ（保護カバー） 医療・エレクトロニクス機器（モニタ）
HM シート <sup>注)</sup>	増反射	車載（電子ミラー、コンバイナ、HUD） 偏光サングラス モバイル（意匠パネル）
AR フィルム <sup>注)</sup>	3D 形状への 反射防止	車載（CID）

また、コーティングする素材に関しても、特に限定はなく、アクリルやポリカ等の樹脂（シート、フィルム）、ガラスへの対応が可能です。

注)・・・別紙カタログ資料参照下さい。